

地域共生社会の構築について

三重県名張市の実践

名張市地域包括支援センター

名張市の概況

名張市は、三重県の西部、伊賀盆地の南西部にあって、大阪へ60km、名古屋へは100kmで、ちょうど近畿・中部両圏の接点に位置しています。市域は東西10.6km、南北13.1km、面積129.77km²で、西・南側が奈良県に接しています。山地の多い地勢は新鮮な空気や清らかな水とともに、風光明媚な自然に恵まれています。

古くは伊勢参りの宿場町として形造られ、江戸時代には藤堂氏の城下町として発展しました。

明治から昭和に掛け、数回の合併を行い、昭和29年3月31日に市制を施行しました。

昭和38年以降には大規模な宅地開発が進み、大阪方面への通勤圏として急速な発展を遂げるとともに、市制発足当時3万人であった人口も、昭和56年度には人口急増率全国1位になるなど発展を続け、8万5千人台まで増加しましたが、現在では8万人を割り、減少傾向にあります。

名張市の位置・面積

面積 129.77km²

海拔 225.93m

名張市の人口(平成30年4月1日現在)

総数 78,920人

男 38,120人

女 40,800人

世帯数 33,775世帯

高齢化率 30.5%



地域共生社会の実現にむけて、国の動向

- ▶ 地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律（平成29年6月2日公布）において
- ▶ 社会福祉法を改正し、地域共生社会の実現に向けた取り組みを推進させる内容が盛り込まれる。
- ▶ 「地域共生社会の定義」（ニッポン一億総活躍プランより）

子ども・高齢者・障害者を含めた全ての人々が暮らしと生きがいを共につくり、高め合える地域社会のことで、国が構築を目指す地域包括ケアシステムを、さらに深化させたもの。

- ▶ その具体的取組内容は・
 - ▶ ①「我が事」の意識づくり
 - ▶ 地域住民の地域福祉活動への参加を促進するための環境整備。
 - ▶ ②「丸ごと」の相談支援体制
 - ▶ 住民に身近な圏域において、分野を超えて地域の生活課題について総合的に相談に応じ、関係機関と連絡調整を行う体制整備。
 - ▶ ③多機関の協働
 - ▶ 関係機関の協働による複合化した地域生活課題を解決するための体制整備。

分野別の施策を横断的につなぎ、総合化

ボランティア等の活動の参加生活支援と介護予防

与えられる福祉から、ともに創る福祉への転換

活動者の増加→相互連携→コミュニティ機能の向上

名張市では……→

行政に必要な視点

2

子ども・高齢者・障害者を含めた全ての人々が暮らしと生きがいを共につくり、高め合える地域社会（=地域共生社会）を目指して

①「我が事」の意識づくり

地域づくり組織

②「丸ごと」の相談支援体制

まちの保健室

③多機関の協働

エリアディレクター
(相談支援包括化推進員)

地域づくり組織 負債大 財政難 非合併 職員減 **名張流まちづくりのしくみ** ~我が事の意識づくり~

第1ステージ 「交付金化」	第2ステージ 「組織見直し」	第3ステージ 「地域ビジョンの策定」														
<p>○平成15年3月に「名張市ゆめづくり地域交付金の交付に関する条例」を制定。</p> <p>◆小学校圏域に1つずつの包括的住民自治組織「地域づくり組織」を15地域に設置。各種補助金を交付金として一本化。</p>	<p>○昭和30年代からはじまった「区長制度」を廃止。</p> <p>◆区長、町内会長、自治会長などの地域のリーダーの重複を解消。委託料は地域づくり組織に一括交付。</p>	<p>○地域特性を生かした個性ある将来のまちづくり計画「地域ビジョン」を15地域ごとに策定。</p> <p>◆地域住民の我が事の意識の結晶は、市の総合計画に組み込まれた。</p>														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="5">地域向け補助金等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 15%;">老人保健福祉週間</td> <td style="width: 15%;">青少年育成団体活動</td> <td style="width: 15%;">地区婦人会活動</td> <td style="width: 15%;">資源ごみ集団回収</td> <td style="width: 15%;">廃止 防犯灯管理事業等</td> </tr> <tr> <td colspan="5">平成14年度実績 約5,000万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>15地域づくり組織への一括交付金へ 使途自由なまちづくり活動費 5,000万円</p>	地域向け補助金等					老人保健福祉週間	青少年育成団体活動	地区婦人会活動	資源ごみ集団回収	廃止 防犯灯管理事業等	平成14年度実績 約5,000万円					<p>区長制度 「行政事務委託料」 「区長会運営等委託料」</p> <p>廃止</p> <p>平成21年～ 住民アンケートの実施 各地域にて策定委員会を組織</p> <p>平成24年3月 地域ビジョン発表会</p> <p>発表会の様子</p>
地域向け補助金等																
老人保健福祉週間	青少年育成団体活動	地区婦人会活動	資源ごみ集団回収	廃止 防犯灯管理事業等												
平成14年度実績 約5,000万円																

地域づくり組織 **住民主体のまちづくり**

「区」又は「自治会」174地区

区長制度の廃止 登録制のリーダーへ

対立の解消・住民の団結！

地域づくり組織15地域（小学校区ごと）

各種補助金を一括交付金化 地域主導の予算執行

住民自ら考え、自ら行うまちづくりを活性化！

5

地域づくり組織

～名張流まちづくりのしくみ～

- 平成15年（2003年）4月、まちづくりを「住民が自ら考え、自ら行う」ことを目指し、市民参加のもとに自立的、主体的なまちづくりの推進のため、行政の支援として「ゆめづくり地域予算制度」を創設。
- 地区市民センター等を単位とする15の地域で、「地域づくり組織」が、まちづくり活動を実施。
- 市は、この地域づくり組織に対し使途自由な「ゆめづくり地域交付金」を交付。
- 平成24年度からは、新たに「ゆめづくり協働事業」を加えて、ゆめづくり地域予算制度を拡充。

～ゆめづくり地域交付金の概要～

1. 地域づくり組織の活動支援として交付
2. 使途自由で補助率や事業の限定がない交付金
3. 住民合意で、まちづくり事業を実施し、交付金を活用
4. ハード・ソフトは問わない。ただし、宗教活動、政治活動に使用してはならない。

名張市では、「公共」は、行政のみが独占的に担うという考え方を改め、地域コミュニティ等と行政が協働で担うことによって、従来の行政のやり方だけでは対応できなくなってしまう領域や内容のサービスを提供できる」といった考え方が広がりつつあり、「住民が自ら考え、自ら行う」まちづくりが活発化。行事だけでなくさまざまな事業の展開が可能となった。

特徴的な地域づくり組織の取り組み

■ 防犯パトロール

地域の防犯を目的とした青色回転灯車によるパトロール



■ 子育て広場

地域で子育てを応援する子育て広場の開設



■ 自主防災隊

地域の防災活動を担う自主防災隊の結成



■ 地域の活性化

地域の活性化を目的としたお祭りなどのイベント実施



■ 環境美化活動

地域住民による定期的な環境美化活動の実施



■ おもてなし事業

地域の資源を生かした観光客誘致を目的とした事業

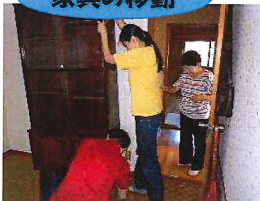


地域づくり組織

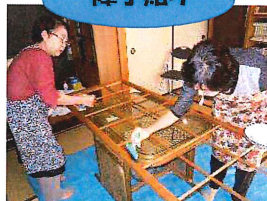
地域包括ケアシステム、地域共生社会を象徴する地域づくり組織の取組。

■ 有償ボランティア組織の活動の様子

家具の移動



障子貼り



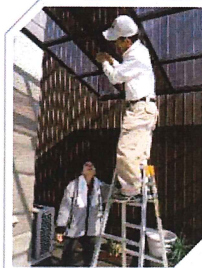
庭木の剪定



掃除の手伝い



簡単な大工仕事

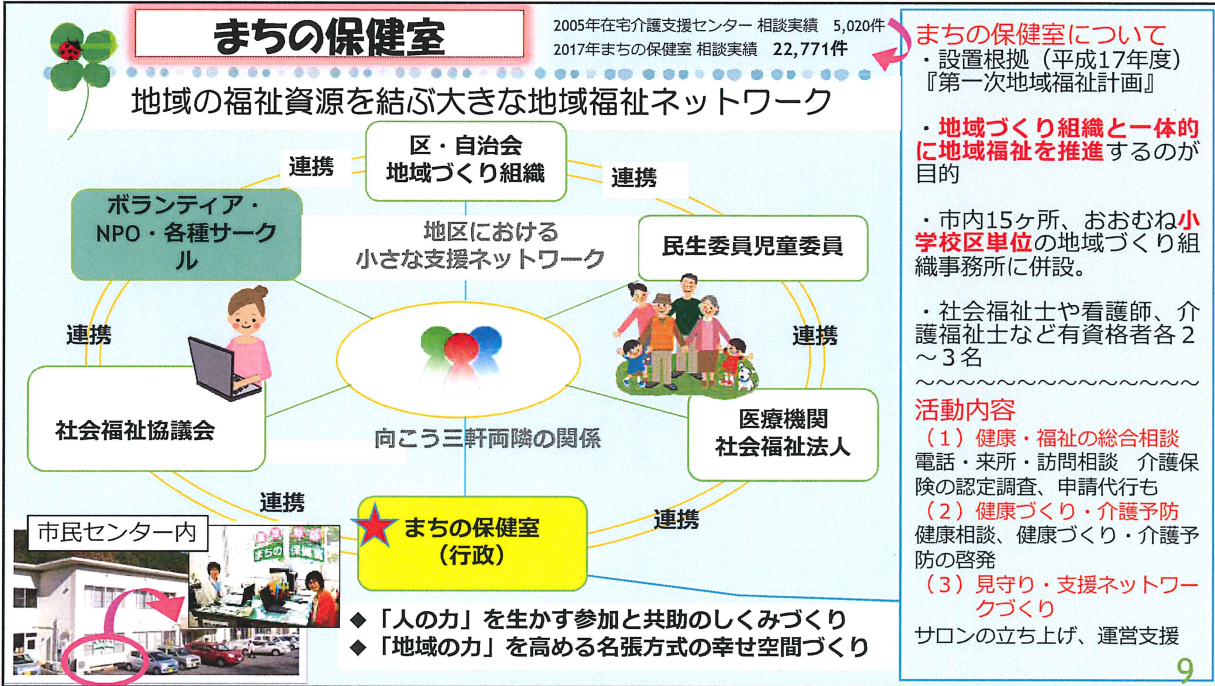
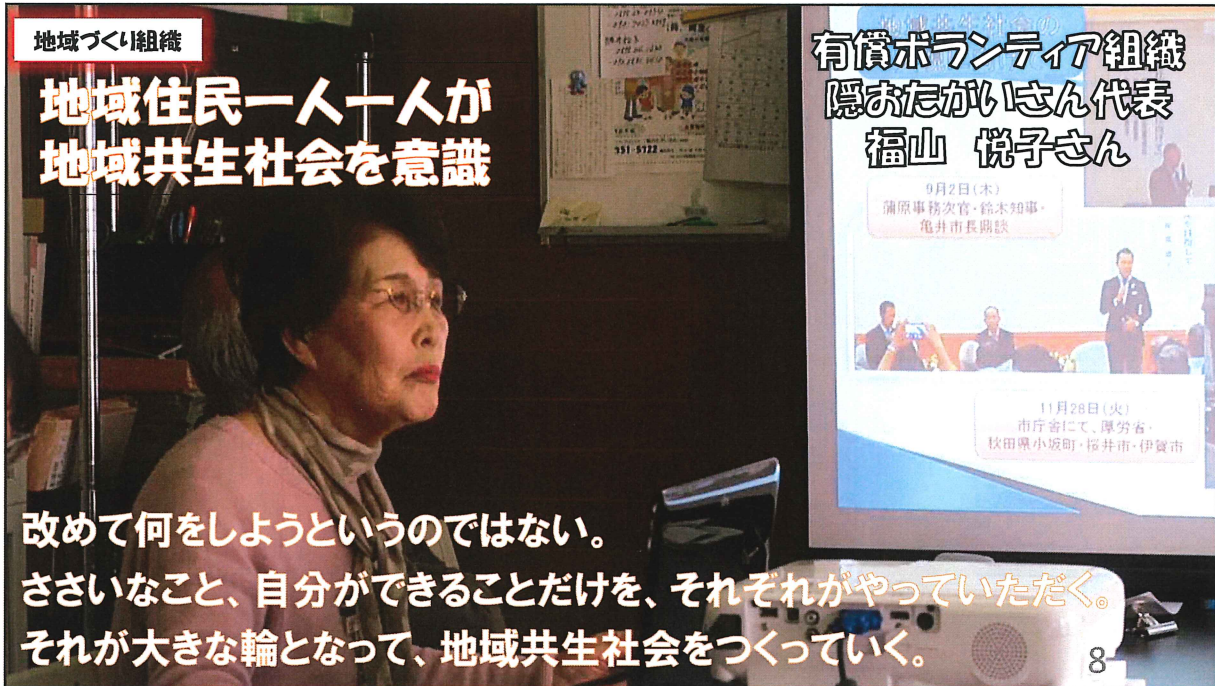


洗濯



★地域包括ケア研究会 植木鉢の図より

1. 15ある地域づくり組織のうち、9つの地域で実施。住民主体の生活支援サービス。最低限の実費と対価を払い地域間で生活を支えあっている。
2. 子ども・高齢者・障害者を含めた全ての人々が暮らしと生きがいを共に作り、高め合える地域社会を目指す取り組み。
3. 有償ボランティアの会員であるサポーター、支援会員も主に地域のご高齢の方々。支援をおこなうことにより社会貢献を実感し、高齢者の生きがい、介護予防につながる。
4. 地域の高齢者が地域の高齢者を支えるしくみは、地域の中でのつながり・互助(地域力)を高める。



まちの保健室

「地域の方々に、安心して活動していただけるよう試行錯誤の毎日です。」

お花見
毎年恒例の名張バリバリ体操♪

敬老会
敬老会・子供会は企画段階から参加★

夏祭り
血圧も測りますよ

芋ほり

餅つき大会
健康や防災を楽しくOxで!

子供会クリスマス会

特徴的な5つの機能

- ①安心して相談できる地域の情報拠点(課題をかかえこませない)
- ②パイプ役としての機能(連携の核)
- ③長期的かかわり(制度につながるまでの中心のかかわりとその後の見守り)
- ④地域とのかかわり(地域と一緒に支援する。地域そのものへの支援)
- ⑤専門職らしくない(敷居は低い、されど専門職。絶妙な距離感)

10

まちの保健室

名張市地域福祉計画 平成17年度
『ともに生き ともに創る 心ふれあう幸せのまち 名張』

名張市地域福祉計画

計画の理念

- ◇ともに生き
- ◇ともに創る
- ◇心ふれあう幸せのまち

共生社会の創造

戦略

- 「人の力」を生かす。
- 「地域の力」を高める。

参考:ソーシャルキャピタル

第三次地域福祉計画推進中
(平成27年度～平成31年度)

→名張市が目指した地域共生社会構築に必要な3つの要素

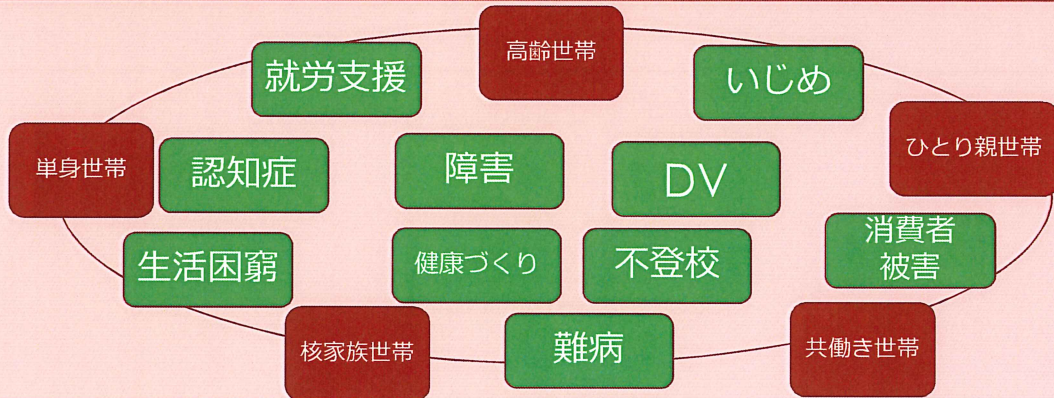
- ・専門職を活用できる**地域の力**。(地域づくり組織)
- ・地域と連動連携できる**専門職の力**。(まちの保健室)
- ・コミュニティ施策と地域包括ケア施策を連動させる仕掛けを**デザインできる行政の力**。(地域福祉計画 等)

例えば、「まちの保健室」がなくても、圏域の包括や社会福祉協議会の地区担当。社会福祉法人や地域密着型の介護事業所など、身近な専門職が受け止める場を担える。行政が地域福祉計画(デザイン)をしっかりと作成し、地域との連動を図ることが重要!

11

～エリアディレクターの設置～ 新たな課題への対応

- 名張市では地域づくり組織を中心としたまちづくりの実践により、一人ひとりに目が行き届く環境が整いつつあります。
- しかしながら、近年の課題として様々な課題が絡み合い、複数分野の課題を抱える世帯が増加しています。(8050問題、ごみ屋敷等の該当案件111件：平成29年2月)
- 地域づくり組織、まちの保健室の取組に加え、新たな仕組みが必要となります。

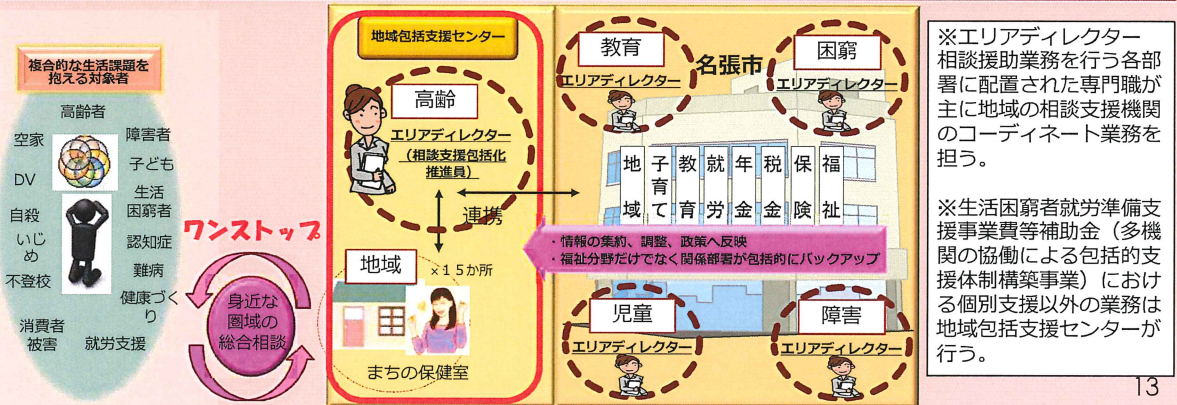


～エリアディレクターの設置～

【体制・環境整備】直営の地域包括支援センターに配置された※エリアディレクターが相談支援包括化推進員を兼ね、地域共生社会構築に向けた各種取組を推進。(研修、講演、シンポジウム、機構改革等)

【個別支援】地域づくり組織、まちの保健室と協力し、把握した個別のケースについては、高齢、障害、児童、教育、困窮の各分野で任命された5名のエリアディレクターが支援を組み立て、エリア会議を通じて関係者(関係機関)の調整を行います。

縦割りの関係者から一歩踏み出した支援を引き出し、地域の課題解決能力を高めます。



個別ケース対応事例



・実際の案件をベースに作成した参考事例です。

認知症が疑われる80代の単身生活の女性。毎日同じ服、家はごみ屋敷、悪臭、お金使いの荒さ、急に怒り出すなど、様子がおかしいことから民生委員、まちの保健室が見守りを続けるも、料金未払いで電気を止められ、ろうそくを使ったことによるボヤ騒動もあり、地域からまち保を通してSOSが入る。

訪問により本人とエリアディレクターが面会し、話を聞こうとするが「自分は健康そのもの、病気などしたことがない。」「大丈夫だから帰って。」「今お客さんがたくさん来ていて忙しい。(誰も来ていない)」と支援拒否。玄関から屋内が見えたがごみ屋敷となっており、ごみでトイレに行けず、廊下で排泄していることから悪臭もあり、劣悪な環境であった。ボヤも起こしており一刻も早く認知症の治療のため医療につなぐ必要があった。

遠方に住む兄や、その兄に聞いた市内の義理の息子に協力を依頼し、本人を説得するも電話が不通のため、兄と本人は話せず、義理の息子とは疎遠であり、自身に病識が無いため強い拒否。

その後短時間だが安否不明になったことがあり、場合によってはカギを壊す可能性があったため、警察や、専門的な対応の指示を仰ぐために保健所にも事情を説明し、指示を仰いだ。電気が止まった際には電力会社に事情を説明し、一時的に開通いただいた。

本人を説得できる人がいないか検討したところ、隣人からの情報で、唯一本人が信頼している人がおり、その方は良く行く店舗の店員の女性だった。店員の女性に協力依頼し、エリア会議を開催した。

メンバー: 区長、隣人、まち保、店員の女性、義理の息子、エリアディレクター

決定内容: 本人の保護は一刻を争うため、翌日を執行日とし、本人が家から出たら隣人から連絡をもらい、店員の女性とエリアディレクターが本人を説得して病院へ連れていく段取りとなった。(エリアディレクターより病院の相談員へ入院の受け入れ態勢をとっていただくよう依頼。)

翌日段取り通り、「一緒に健康診断へ行こう」と嘘をついてもらったが、本人は店員の女性の姿に安心し、無事に病院へ受診することができた。重度のアルツハイマー型認知症と診断され、遠方より駆けつけた兄の同意のもと医療保護入院(家族同意による強制入院)となった。現在も認知症の治療は続けており、症状も改善してきているため、認知症グループホームの入所を検討している。

★おまけ

入院後、本人が大切にしていた飼い猫については、里親探しのボランティア団体にエリアディレクターより連絡し、区長、義理の息子が一時的に世話をしている間、里親を探してもらい、無事に飼い主が見つかった。



【検討事項】緊急保護

【エリア会議招集】場面と人を変えて複数回開催

【関係機関等】相談者(区長)、隣人、実兄、義理息子、民生委員、まちの保健室、地域包括支援センター、警察署、保健所、電力会社、本人がよく行っていた店舗の店員、精神科病院の相談員、飼い猫の里親探しのボランティア団体

【エリアディレクターの主な役割】

家庭訪問、課題の整理、関係者との連絡調整、支援プランの作成(見立て)、情報の総合管理、その後の見守り、など

エリアネットワーク会議(相談支援包括化推進会議)

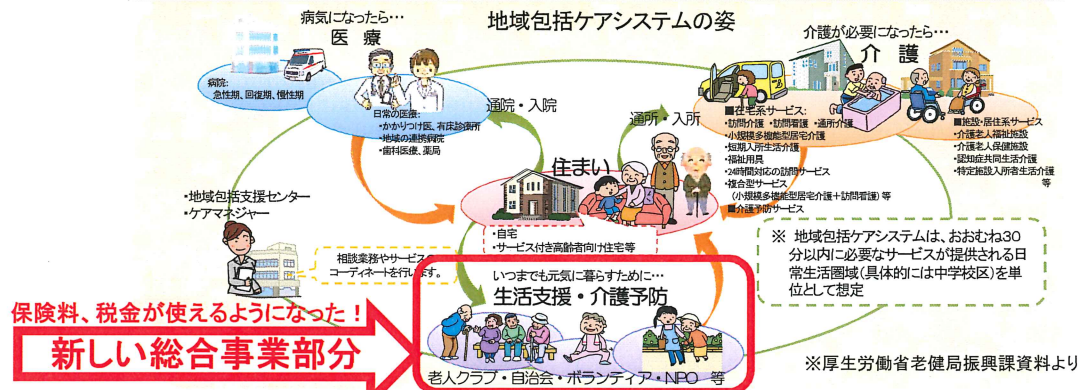
課題に応じて警察、児童相談所、保健所など国・県の関係専門機関も含めた地域の関係者による個別案件のエリア会議を迅速に開催できるよう、ネットワーク構築のための広域の会議等も随時開催し、地域共生社会実現に向けた協力を呼び掛けています。



資料編

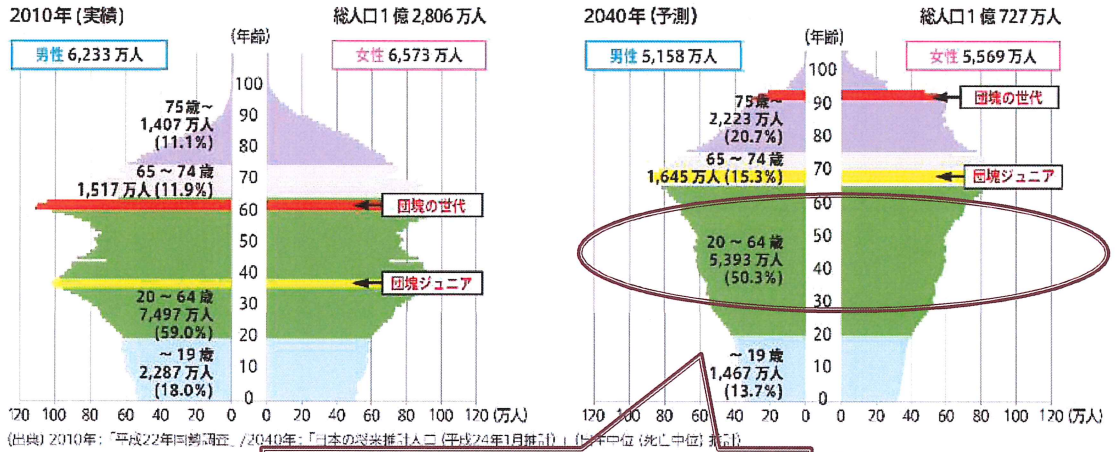
地域包括ケアシステムの構築について

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制(地域包括ケアシステム)の構築を実現。**
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差。**
- 地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要。**



我が国の人口ピラミッドの推移

人口ピラミッドの変化



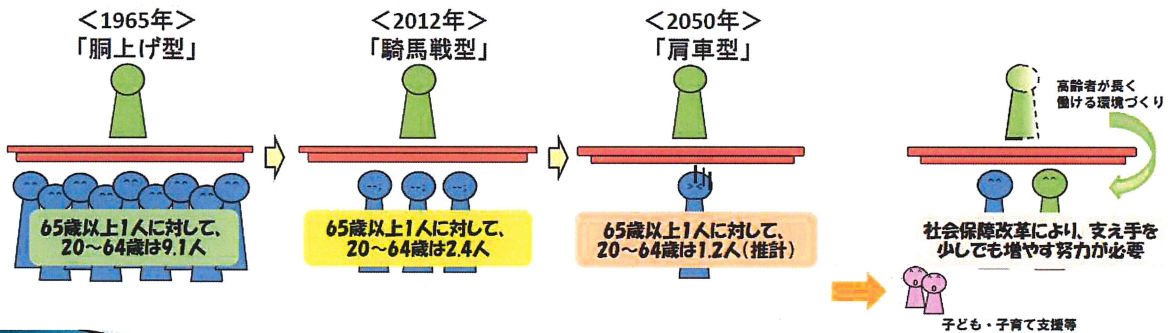
労働人口減少!

内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局資料より

どんどん重くなる負担にどうやって対処するか

「肩車型」社会へ

今後、急速に高齢化が進み、やがて、「1人の若者が1人の高齢者を支える」という厳しい社会が訪れます。



※社会保障制度改革国民会議資料 参考資料3 社会保障・税一体改革関連資料より抜粋

名張市の介護保険給付費の状況と介護保険料

1人で支えるって、お金だけの問題ではないの！！？

	2000年度 (平成12年度)	2015年度 (平成27年度)	2040年度
介護保険給付費	約18.5億円	約57.0億円	??億円
第1号被保険者 介護保険料 (基準額)	2,769円/月	5,800円/月	??円/月

介護保険料は
際限なく高くなる？

介護人材不足でサービス
量は増えない……

20

地域づくり組織

名張市のあゆみ

近畿・中部両県の接点

万葉の時代から東西往来の要所、宿場町として栄える

→ 江戸期から続く中心市街地の周辺に農山村地帯が広がる

昭和29年 市制施行(昨年 市制施行60周年)

昭和34年 伊勢湾台風

昭和38年 大規模住宅団地の造成(大阪圏のベットタウン)

昭和56年 人口増加率日本一

平成6年~ 中央地区土地区画整理事業開始

平成9年 市立病院開院

平成14年 財政非常事態宣言

平成15年 合併賛否市民投票 否決

ゆめづくり地域交付金の交付に関する条例



中央地区土地区画整理事業

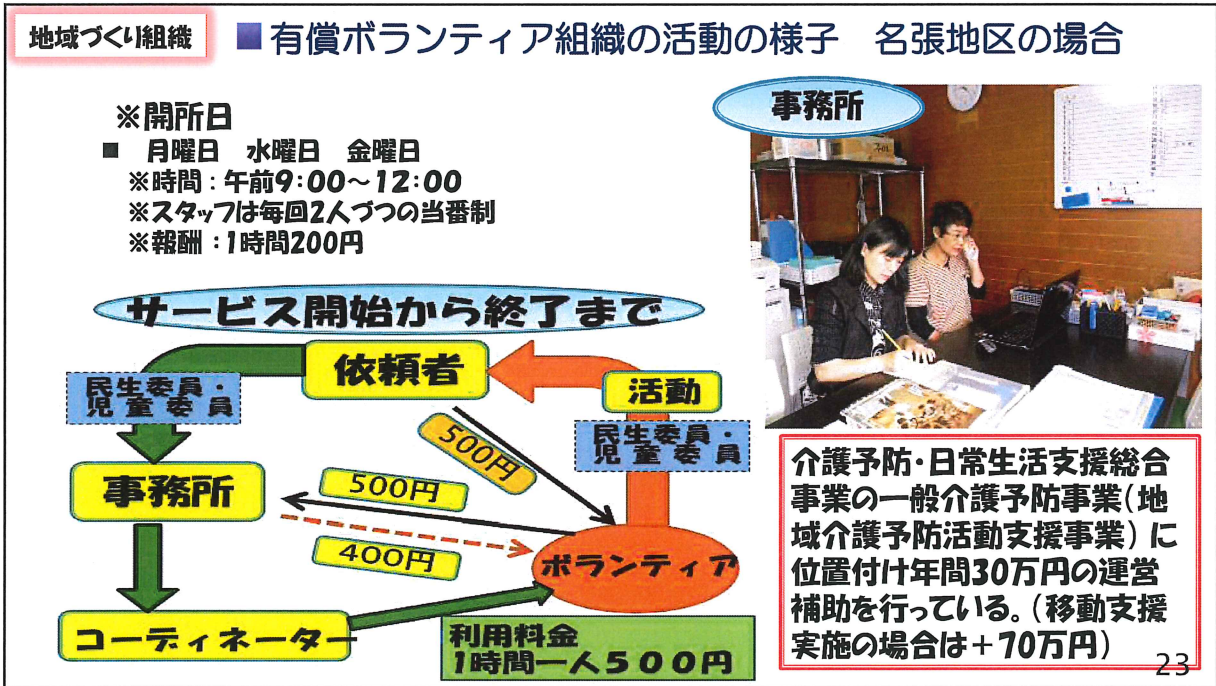
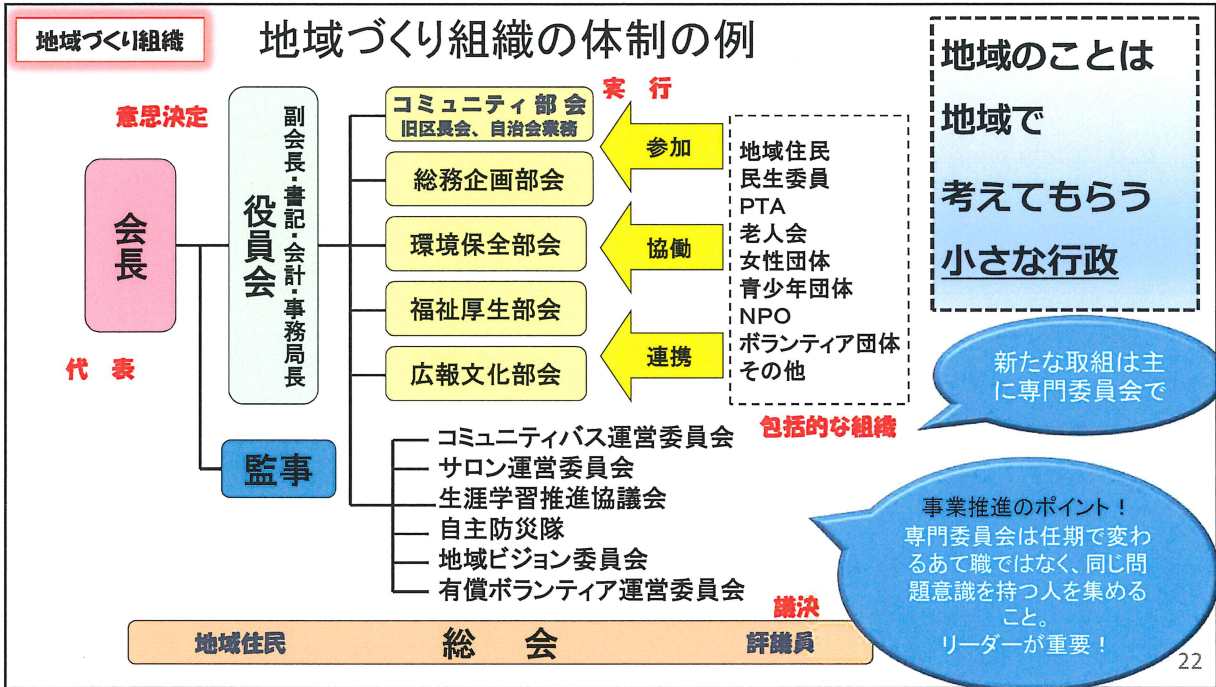


名張市立病院



人口減少と財政難

21



名張市の地域包括支援センターについて

地域包括支援センターは、高齢者のみなさんが、いつまでも住み慣れた地域で生活できるよう支援するため、市内15地域に総合相談の窓口として設置されたまちの保健室とともに市役所に設置された総合相談の拠点です。

こんな業務を行っています・・・

総合相談支援 ～様々な問題を解決するために

高齢者のみなさんやその家族、地域住民の方などから健康や福祉、医療など様々な相談を受けて、どのような支援が必要か把握し、各種制度をつないで適切な支援へつなぎます。

高齢者のみなさんの権利を守ります

消費者被害の防止、成年後見制度の利用支援、高齢者虐待の防止・早期発見など高齢者のみなさんの権利を擁護します。

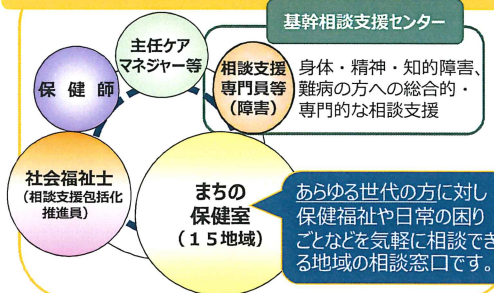
自立した生活ができるよう介護予防をすすめます

要支援認定を受けられた方や介護や支援が必要となるおそれのある方に、介護が必要な状態とならないように介護予防支援計画を作成します。



私たち専門職が連携して、さまざまな相談に対応します

名張市地域包括支援センター（直営1か所）



名張市地域包括支援センター

(名張市役所内 1階 7番窓口)

電話 0595 (63) 7833

FAX 0595 (63) 4629

Mail houkatsu-c@city.nabari.mie.jp

8:30～17:15

休業日(土、日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日))

まちの保健室

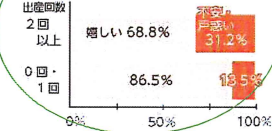
名張版ネウボラ(子育て支援システム)

○「名張版ネウボラ」とは産み育てるにやさしいまち「なばり」をめざした妊娠・出産育児の切れ目ない相談・支援の場でありシステムである。

妊娠アンケート結果

今市に妊娠届出をした妊婦 1577人から回答

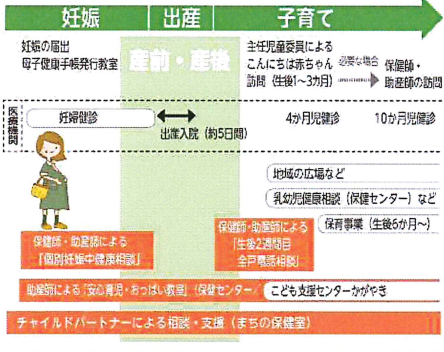
Q 妊娠を知ったときの気持ちは？



塩崎厚生労働大臣視察の様子



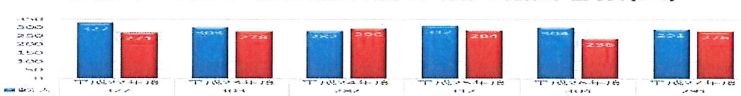
名張版ネウボラ ※出産・乳幼児期



森少子化対策担当大臣(当時)も視察に訪れました

近年名張市における、15歳未満の転入者が増加

名張市における15歳未満の転入転出者数(人)





名張市の概要

ベッドタウンのまち
人口減少と急速な高齢化

核家族が多い

保育所の待機児童数は増加

○年間出生数： 669人（平成25年）657人（平成24年）

合計特殊出生率	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
全国	1.32	1.34	1.37	1.37	1.39	1.39	1.41	1.43
三重県	1.35	1.37	1.38	1.40	1.51	1.47	1.47	1.49
名張市	1.22	1.17	1.31	1.37	1.40	1.38	1.48	1.56

○核家族世帯の割合(対総世帯)[平成22年度国勢調査より]

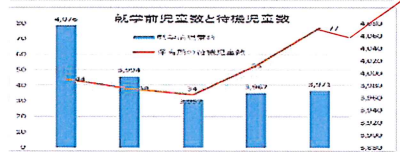
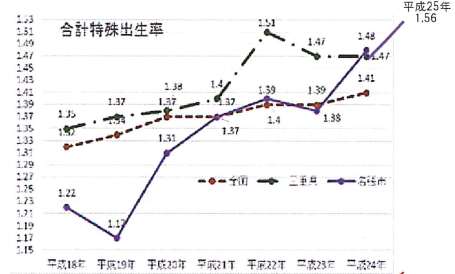
全国	56.3%	三重県	58.7%	名張市	67.5%
----	-------	-----	-------	-----	-------

○就学前児童と待機児童数

	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
就学前児童数	4,076人	3,994人	3,957人	3,967人	3,971人	3,959人	3,986人
保育所の待機児童数	44人	38人	34人	53人	77人	71人	100人

○高齢化率の将来推計

	名張市の推計人口	平成12年	平成22年	平成37年	平成52年
名張市	総人口(人)	83,291	80,284	72,333	60,037
	高齢化率(%)	14.9	22.6	35.0	39.2
三重県	総人口(人)	1,857,339	1,854,724	1,714,523	1,507,656
	高齢化率(%)	18.9	24.3	30.8	36.0
全国	総人口(人)	126,925,843	128,057,000	120,656,000	107,276,000
	高齢化率(%)	17.3	23.0	30.3	36.1



※平成12年、平成22年は国勢調査
 ※平成37年、平成52年は国立社会保険・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』(平成25年3月推計)より

地域づくり組織の概要








平成29年度 ゆめづくり地域交付金等額一覧

単位(円)

地域づくり組織名	地域交付金				地域内人口(人)	基礎的コミュニティ数	地域交付金合計	市民センターの指定管理料	総計	地域の特徴
	基本額	コミュニティ活動費	特別交付金	地域事務費 地域調整額						
名張地区まちづくり推進協議会	2,590,000	3,076,200	3,200,000	300,000	6,166	19	9,166,200	8,122,680	17,288,880	市の中心市街地
中央ゆめづくり協議会	1,520,000	1,505,200	1,500,000	300,000	2,676	10	4,825,200	3,691,440	8,516,640	市役所を含む新市街地
蔵持地区まちづくり委員会	1,793,000	1,295,600	1,500,000	300,000	3,568	6	4,888,600	4,257,360	9,145,960	農村部と住宅団地
川西・梅が丘地域づくり委員会	2,850,000	2,858,000	2,350,000	300,000	7,015	15	8,358,000	5,258,520	13,616,520	住宅団地と農山村部
藤原地域づくり委員会	1,335,000	1,190,600	1,500,000	400,000	2,073	8	4,425,600	4,741,200	9,166,800	農山村部と住宅団地
地縁法人 美旗まちづくり協議会	3,203,000	3,670,600	3,200,000	300,000	8,168	21	10,373,600	9,685,440	20,059,040	農村部と住宅団地
ひなち地域ゆめづくり委員会	2,221,000	1,574,800	1,500,000	300,000	4,964	6	5,595,800	5,064,120	10,659,920	農村部と住宅団地
すずらん台町づくり協議会	1,857,000	1,143,000	1,500,000	300,000	3,775	4	4,800,000	5,357,880	10,157,880	住宅団地
地縁法人 錦生自治協議会	1,220,000	1,406,400	1,500,000	400,000	1,697	11	4,526,400	4,453,920	8,980,320	農山村部(一部住宅団地)
赤目まちづくり委員会	1,859,000	1,726,400	1,500,000	300,000	3,782	10	5,385,400	4,883,760	10,269,160	農村部と住宅団地
箕曲地域づくり委員会	1,594,000	1,068,800	1,500,000	400,000	2,919	5	4,562,800	4,606,200	9,169,000	農山村部(一部住宅団地)と沿道商業地
一般社団法人 青蓮寺・百合が丘地域づくり協議会	3,006,000	2,863,200	2,350,000	300,000	7,526	14	8,519,200	6,539,400	15,058,600	住宅団地と農山村部
国津地区地域づくり委員会	897,000	1,001,800	1,500,000	500,000	644	9	3,898,800	3,624,480	7,523,280	農山村部
桔梗が丘自治連合協議会	4,960,000	5,107,600	4,700,000	300,000	13,898	24	15,067,600	11,009,520	26,077,120	住宅団地
つつじが丘・春日丘自治協議会	4,088,000	3,375,000	3,200,000	300,000	11,055	12	10,963,000	8,091,360	19,054,360	住宅団地
合 計	34,993,000	32,863,200	32,500,000	5,000,000	79,926	174	105,356,200	89,387,280	194,743,480	

地域の社会資源の取組状況

地域の社会資源一覧表







	(1) サロン事業	(2) 配食ボランティア	(3) 有償ボランティア	
名張	7サロン	ぶちとまと	隠おたがいさん	
鴻之台・希央台	1サロン	ぶちとまと	(隠おたがいさん)	
蔵持	6サロン	—	—	
川西・梅が丘	9サロン	—	—	
薦原	—	こもちゃん	コモコモサポート	
桔梗が丘	15サロン	お助けセンター	お助けセンター	
美旗	5サロン	たけとんぼ	はたっこサポート	
つつじが丘・春日丘	3サロン	配食サービスつつじ	ねこの手、は〜とバス	
国津	8サロン	—	—	
比奈知・富貴ヶ丘	7サロン	あい-あい	助っ人の会	
すずらん台	4サロン	ひだまり	ライフサポート	
錦生	3サロン	—	—	
赤目	5サロン	ひよこ(一ノ井限定)	あんしんねっと赤目	
箕曲	2サロン	—	—	
青蓮寺・百合が丘	8サロン	ゆりの花	ポパイ、ゆりバス	

28

地域の社会資源の取組状況

有償ボランティア(要援護者等日常生活支援事業)

家事支援及び庭の管理、日曜大工等の日常生活の困りごとに対する支援、必要に応じた安否確認が9地域において取り組まれており、移動が困難な方に対する外出支援事業が6地域で実施されています。

地域名	地域づくり組織内の当該事業 実施組織名	事業開始年月
すずらん台	すずらん台ライフサポートクラブ	 H20.4
青蓮寺・百合が丘	生活支援ボランティア「ポパイ」	 H23.4
名張	隠おたがいさん	 H23.7
つつじが丘・春日丘	特定非営利活動法人 生活支援 つつじ・春日丘	 H23.11
比奈知	助っ人の会	H25.4
桔梗が丘	桔梗が丘お助けセンター	 H27.4
美旗	はたっこサポート運営審議会	H28.4
薦原	コモコモサポート	H29.8
赤目	あんしんねっと赤目	 H30.6

29

まちの保健室開設状況

	開所日	業務開始
平成17年度	名 張 (H18.3.10) 桔梗が丘 (H18.3.10) つつじが丘 (H19.2.5)	
平成18年度	梅が丘 (H19.2.13) 美 旗 (H19.2.13) すずらん台 (H19.3.29) 百合が丘 (H19.3.29) 蔵 持 (H20.3.24)	(名 張) (桔梗が丘)
平成19年度	比奈知 (H20.3.24) 錦 生 (H20.3.31) 赤 目 (H20.3.31) 箕 曲 (H20.3.31) 国 津 (H20.3.31) 薦 原 (H20.3.31)	(梅が丘) (美 旗) (すずらん台) (つつじが丘) (百合が丘)
平成20年度		(蔵 持) (比奈知) (錦 生) (赤 目) (箕 曲) (国 津) (薦 原)
平成23年度	鴻之台・希央台 (H23.4.1)	(鴻之台・希央台) ※新地域設定により開設

30

エリアテレクター

エリアネットワーク会議(相談支援包括化推進会議)



平成28年10月
エリアネットワーク会議
○市内75の民間事業所・関係機関・団体等の代表が一同に会し、それぞれの取組を発表するとともに、地域共生社会の構築に向けて共通認識を持ち取り組むことを確認した。



平成29年9月厚生労働事務次官講演会
○厚生労働省の蒲原事務次官による講演と、鈴木英敬三重県知事もお招きし、市長との鼎談を企画。「地域共生社会の実現に向けて」というテーマで3者による活発な議論に市民320名が聞き入った。



平成29年9月
○厚生労働省 濱谷老健局長をお招きし、地域包括ケアシステム強化法共生社会の構築について講演いただいた。

平成28年11月 教福連携名張サミット
○三重県知事 鈴木英敬
厚生労働省 定塚由美子社会局長
文部科学省 生涯学習政策局
西井知紀社会教育課長
をお招きし、市内ホールにて市民や関係者750名が参加のもと、地域福祉教育総合支援システムのキックオフ大会を盛大に行った。



平成29年8月
農福連携・農泊推進 講演会
農水省都市農村交流課 日置課長をお招きし、共生社会推進の一環として福祉が行う農業や、農業の持つ資源の更なる有効活用によってすべての人々の社会参加を図り、働く場所や人材の確保を狙った。農山村と都市との共生を推進する農泊の取組を推進した。 31

エリアレクター

地域懇談会(相談支援包括化推進会議)
新たな社会資源の創出・地域課題の把握



平成29年度
全15地域15回の地域懇談会を開催。
生活支援コーディネーターと連携し、地域
課題を把握と課題解決に必要なサービス創
出について話し合った。

